

ハイボット開発のロボットアーム "Float Arm"

BASF アントワープ工場で実証試験に成功 SPRINT Robotics Award で1位受賞

株式会社ハイボット(本社：東京都品川区、代表取締役社長 ミケレ グアラニエリ、以下「ハイボット」)は、ベルギーの BASF アントワープ工場で、パイプラック施設や圧力タンクの点検を含む、自社開発のロボットアーム "Float Arm" のフィールド実証試験を行ったことを発表します。

Float Arm は、狭隘・危険・過酷な環境で稼働しているインフラ施設を対象とする点検作業向けにてデザインされた、多関節ロボットアームです。Float Arm は内部に自重補償機能を持つことにより、他社の製品と比較し軽量かつコンパクトな筐体を実現していますので、これにより分解・組立・交換が簡単に行え、設備が密集している中でも障害物を避けながら作業できます。BASF アントワープ工場で行われた実証試験では、カメラを使用した目視点検や超音波厚み計測を行いながら、様々な作業環境に適応する機動性を発揮することができました。

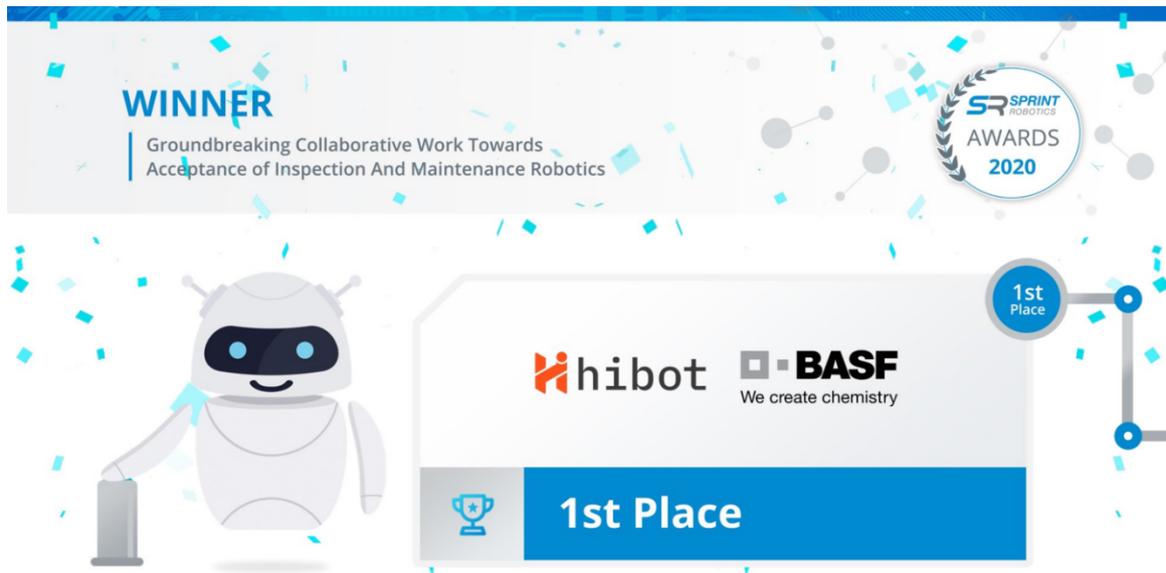


BASF アントワープ工場で行われたパイプラック施設の実証試験の様子

実証試験の結果、点検の視認性は良好で（実証試験動画リンクは下記に記載しています。）、石油プラント業界を含む他業界からも注目を受けています。また、保守点検ロボットの普及を目的に設立された業界団体である SPRINT Robotics が主催する、SPRINT Robotics Award 2020 に Float Arm がノミネートされ、今回のアントワープで行われたハイボットと BASF 社の共同作業が、Groundbreaking Collaborative Work Towards Acceptance of



Inspection and Maintenance Robotics カテゴリーで、見事 1 位を獲得することができました。



Hibot-BASF Antwerp was awarded the 1st place in the SPRINT Robotics Award 2020

◆関係者のコメント

・ BASF アントワープ Operations Manager Utilities Jürgen Moors 氏

我々のパイプラック施設は広大なため、現場での移動距離がとても長く、保守点検作業に課題が生じています。効率的なより良い方法や IT の活用などを模索していた中で、将来の拡張性も考慮した結果、ハイボットが提供するソリューションに我々はたどり着きました。

・ 株式会社ハイボット 代表取締役社長 ミケレ グアラニエリ氏

イノベーションとは、たった1つの存在によって起きるものではなく、目標に向かって突き進む情熱や信念を持った人たちが集まって起きるものである、と強く信じています。今回の BASF アントワープと我々ハイボットの間で実現されたことが、まさしくこのイノベーションであったと強く感じています。

◆BASF Antwerp: Piperack inspections with Float Arm の動画リンク

<https://youtu.be/ZgJ0X0V9p0M>

◆SPRINT Robotics Award のリンク

<https://sprintrobotics.org/wp-content/uploads/2021/09/SPRINT-Robotics-Awards-2020-winners.pdf>

<会社概要>

会社名：株式会社ハイボット

所在地：東京都品川区北品川 5-9-15

代表者：代表取締役社長 ミケレ グアラニエリ

設立日：2004年4月15日

コーポレートサイト：<https://www.hibot.co.jp/>



東京工業大学の広瀬茂男教授、ミケレ グアラニエリ、パウロ デベネストを中心とする創業メンバーによって、先端科学技術の産業応用を目的に 2004 年に設立されました。ハイボットはこれまで、極限環境におけるロボット技術の開発に特化してきました。また、AI を搭載した遠隔操作ロボットを製造・開発し、人間が過酷な環境で行う現場作業から解放されるソリューションを提供しています。ハイボットが製造してきたロボットは、捜索・救助活動や福島第一原子力発電所の廃炉作業等の現場に利用されています。

<お問い合わせ先>

広報チーム（飯島、炬口）

電話番号: 03-5791-7526

e-mail : press@hibot.co.jp